

新品種候補 (2017 年 1 月作成)

育種事業課題名：ばれいしょ新品種候補「C P O 8」の概要 (722431、722483)

担当部署：北見農試・研究部・作物育種グループ、生産環境グループ、上川農試・研究部・地域技術グループ、
中央農試・作物開発部・作物グループ、病虫部・予察診断グループ、
十勝農試・研究部・地域技術グループ、農研機構北海道農業研究センター・畑作物開発利用研究領域

キーワード：ばれいしょ、ポテトチップ用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性、長期貯蔵、でん粉価

1 特性一覧表

系統名：「C P O 8」 組合せ：Monticello／きたひめ

特性 長所 1 ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。
2 長期貯蔵後のポテトチップ加工適性が優れる。
3 「スノーデン」よりでん粉価が高い。

短所 1 初期生育がやや遅い。

普及見込み面積： 500ha (平成 35 年)

調査場所	農業試験場平均 (4 場延べ 10 箇所)				現地試験平均 (6 市町村延べ 11 箇所)	
調査年次	平成 26～28 年				平成 27、28 年	
品種・系統名	C P O 8	トヨシロ (標準)	スノーデン (対照)	きたひめ (比較)	C P O 8	トヨシロ (標準)
項目						
早晩性	中	やや早	やや晩	中		
枯ちょう期(月/日)	9/4	8/27	9/13	9/3	9/3	8/27
終花期の茎長(cm)	58	60	73	59	60	62
上いも数(個/株)	10.5	11.1	12.7	10.4	8.6	9.8
上いもの平均重(g)	98	100	80	106	111	107
上いも重(kg/10a)	4,526	4,851	4,472	4,830	4,386	4,929
対「トヨシロ」比	93	100	92	100	89	100
対「スノーデン」比	101	108	100	108		
規格内いも重(kg/10a)*1	4,037	4,315	3,638	4,384	3,956	4,370
対「トヨシロ」比	94	100	84	102	91	100
対「スノーデン」比	111	119	100	121		
でん粉価(%)	17.6	16.2	14.5	15.4	16.7	15.7
初期生育*2	やや遅	中	中	やや早		
塊茎の特性						
形	短卵	卵	円	短卵		
皮色	淡ベージュ	淡ベージュ	淡ベージュ	淡ベージュ		
肉色	白	白	白	白		
目の深さ	浅	浅	やや浅	やや浅		
休眠期間	中	長	中	中		
褐色心腐の多少*3	微	微	無	微		
中心空洞の多少*3	微	微	無	微		
二次成長の多少*3	無	少	微	微		
打撲黒変耐性*4	やや弱	中	やや弱	中		
ポテトチップ加工適性*5						
6 月・6℃貯蔵後						
チップの外観	○	×	△	△		
アグトロン値	50.1	25.7	36.0	36.3		
グルコース含量(mg/g)	0.54	4.65	1.65	1.79		
病虫害抵抗性*6						
ジャガイモシストセンチュウ	強(HI)	弱(h)	弱(h)	強(HI)		
塊茎腐敗	やや強	やや弱	(強)	(中)		
そうか病	やや弱	(弱)	(中)	(弱)		
疫病圃場抵抗性	弱	弱	弱	弱		
Y モザイク病	弱	弱	(弱)	(弱)		



「C P O 8」
アグトロン値 45.1



「スノーデン」
アグトロン値 35.5

写真 6 月・6℃貯蔵後の
ポテトチップ
(平成 27 年 6 月 8 日 北見農試)

注 1) *1 現地試験においては中以上いも重の成績。

2) *2 北見農試における達観調査。遅から早の 5 段階で評価。

3) *3 各試験地の結果による。

4) *4 北農研センターの結果による。

5) *5 北見農試における評価。チップの外観は×から◎の 5 段階。

アグトロン値は白度を表す指標で、値が高い程焦げ色が少ない明るい色のチップであることを示す。

6) *6 特性検定試験の結果による。括弧は既往の評価。

2 特記すべき特徴

ばれいしょ「CP08」はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ加工用系統である。枯ちよう期は「スノーデン」より早く、でん粉価が「スノーデン」より高い。長期貯蔵後のポテトチップ加工適性が優れる。

3 優良品種に採用しようとする理由

北海道におけるばれいしょの中でポテトチップ用は約2割を占める重要な用途である。概ね生産年の8月から翌年の6月頃まで使用されており、使用時期によって品種が使い分けられている。その中で、翌年の3月以降に使用される品種は、長期間の貯蔵後でも焦げにくく、ポテトチップ品質が優れる特性が必須である。

現在、長期貯蔵に適した品種の一つとして「スノーデン」が3～6月まで使用されているが、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持っていない。ジャガイモシストセンチュウの発生圃場は、平成27年で道内54市町村、約1万1千ヘクタールに拡大し、安定生産上の大きな問題となっている。そのため、「スノーデン」より高品質で、長期貯蔵に向く抵抗性品種が求められている。

ばれいしょ「CP08」は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、長期貯蔵後のポテトチップ品質が「スノーデン」より優れる。枯ちよう期は「スノーデン」より早く、でん粉価は高く「スノーデン」に優る。上いも重および規格内いも重は「スノーデン」並である。

以上のことから、「CP08」を「スノーデン」の一部に置き換えて普及することにより、加工原料の安定供給が可能となり、北海道産ばれいしょの安定生産に寄与できる。

4 普及見込み地帯

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯

注1) 数値のみは「トヨシロ」対比。□は「スノーデン」対比。○は「スノーデン」の想定収量対比。

2) 「スノーデン」の想定収量は、各管内の試験研究機関における平成21～28年の「スノーデン」の平均収量の「トヨシロ」対比（上川管内：97、十勝管内：81、北見管内：95）より算出した。

3) ●は試験研究機関で規格内いも重対比、平成26～28年の平均。

4) ◆は現地委託試験で中以上いも重対比。平成27～28年の平均。



図 普及見込み地帯における「CP08」の規格内いも重、中以上いも重の「トヨシロ」、「スノーデン」対比 (%)

5 栽培上の注意

1) 初期生育がやや遅く、揃いが悪い特性があることから、浴光催芽を丁寧に行い生育促進に努める。